

六甲カトリック教会 教会報

12

No.576



ことしもいろいろありました

2019年六甲教会 主なニュースに寄せて



六甲教会のこの1年にどんなニュースがあったでしょうか、少々大雑把ですが数えてみました。順不同です。

- 1.春の人事で高山神父と中村神父の異動 高山神父は広島・祇園教会へ 中村健三神父が広島三篠教会から六甲へ着任
- 2.アルフレド神父の銀祝、4月に大阪カテドラルで表彰
- 3.教皇フランシスコ来日、東京、長崎ミサに六甲から多数参加
- 4.平和旬間で当教会独自の企画「祈りの集い」を開く
- 5.教会の呼称はカトリック六甲教会から六甲カトリック教会へ

と、まず五つほど浮かびますが、ほかにもそれぞれみなさんが思いつく出来事があると思います。6月のアベイ補佐司教の講演「出向いて行く教会」になるために、9月の山根敏身神父の「浦上四番崩れ」講演、黙想会も一度は台風で中止を余儀なくされましたが積極的に開催されました。

4月からは評議会、地区会もメンバーが交代し新しい執行部が発足しました。一方で信徒の減少・高齢化による教会財政の厳しい問題を抱え、多事多難であることは否めません。それでも新受洗者や新成人のお祝い、堅信式、初聖体と祝福式など教会本来の活動、信仰と祈りの大切さはそれぞれの信徒に確実に育まれつつあります。バザーや納涼の夕べなどで発揮されるパワーとエネルギーは健在です。ことしは年号が平成から令和に変わりました。台風や水害など全国的に災害も多く、今後の課題として教会独自の防災・避難訓練の必要も語られるようになりました。ご降誕を控えて、2000年前のシオンの民が救い主を待ち望んだ故事をいま一度わが胸とそして決して平和でない世界に問いかけ、心を新たにしてお祝いして迎えるようにしたいものです。2020年はオリンピック・パラリンピックの年です。猛暑の中の開催が懸念されていますが、過日の教皇来日の際に示された地球環境への深い関心と[すべてのいのちを守るため-PROTECT ALL LIFE]のテーマをしっかりと受け止め行動していかなければならないと思います。



(編集部)

2019年度第五回地区役員会(2019年11月16日)議事録(要約)

1. バーベキュー大会報告

晴天に恵まれ、カキ氷も出店。販売開始30分で完売。牛肉25kg,コンロ3台を使用。

2. チャリティーバザー報告

- ・野外での初めての試み「親子木工教室」は、盛況の内に終了。親子で賑わい評判がよかった。(雨天時の設置場所を検討する必要あり。)
- ・アナウンス(開始、終了、募金等)は館内放送を活用する必要がある。
- ・駐車場にテントを設営しない場合は、駐車可能とする。
- ・出店担当の各地区は報告書を企画チームに提出のこと(反省点を必ず記載)(詳細は各地区報告書参照)
- ・11月17日(日)10時ミサ後、ミニチャリティーバザーをイグナチオホールにて開催する。

3. 教会行事日程と行事担当確認

行事日程		担当
主の降誕夜半ミサ茶	12/24(火)	東灘北1
神の母マリアミサ後カウントダウン	12/31(火)	・林(聖)、鶴田
教会新年会、新成人祝福式	2020/1/12(日)	東灘南
復活徹夜ミサお茶	2020/4/11(土)	東灘北2、芦屋
ご復活お祝い	2020/4/12(日)	地区役員会
2020年度 掃除当番表作成・印刷		・井川、長瀬
2020年度 教会行事日程表、地区連絡網配布		・藤井、田中

・印の方はチーフ

敬称略

- ・主の御降誕夜半ミサ聖堂案内係17時 井川他2名
- ・教会行事日程表、地区連絡網配布は、郵送も含め3月中に信徒に配布完了とする。
(詳細スケジュール2月度地区役員会にて決定)

4. 2020年度予算

- ・2019年度地区会予算に大掃除後の茶菓子代 3000 円を追加する。

5. その他

- ・初めての試みとして地区集会を実施する。10時ミサ後、各地区(8地区)が同時に各会議室等に別れ地区会を開催する。日程案として5月10日(日)10時ミサ後を検討。2月9日(日)地区役員会にて詳細を決定し、広報宣伝を事前にしっかり実施する。
- ・2020年度の教会大掃除は、屋外・屋上に枯れ葉、落ち葉が多くなる時期に開催とする。12月5日(土)9:00実施にし(予備日12月12日)大掃除後地区役員会開催とする。雨天決行。
- ・今年度で交替の地区役員は、12月末日までに井川に報告。
- ・次回地区役員会は2020年2月9日(日)。新旧地区役員が出席すること。

バザー協賛グループより御礼

今年も大勢の方々にバザーに来ていただきありがとうございました。海外で教育環境に恵まれない子供たち、知的ハンディの人々、難民移動移住者、被災者などを支援している様々なボランティアグループの総売上が相当額集まりました。教会の場をお借りして出店させて頂いたことに深く感謝いたします。今後とも、ふれあい広場(毎月第3日曜日10時ミサ後)でもご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。(社会活動部)

壮年会 男の料理教室



- *)料理教室は2004年4月に故志水英彦氏・故桐原康多氏が中心になって、壮年会会員相互の親睦や理解を深める手段として発足し本年11月で157回を迎えます。最盛期は11～14名の会員が参加していましたが、現在は6～7名の会員が活動しています。
- *)この料理教室は次々と新しい料理を勉強する・よりは、基本的な準備作業・煮炊き作業の習得とこの作業を協働する事で相互理解を深める事を重視して活動しております。
- *)他の色々なグループ同様に料理教室も会員の高齢化・会員数の減少傾向は避けられない状態ですが、この活動を楽しみにする会員が存在する限りは、会の存続に努めたいと思います。
- *)現在は月1回 **第3水曜日 午前10時開始**し後始末を済ませ午後1時30分解散する・・・と云うのが活動状況です。会費は食材費と謝礼に充てる為@2000円集めています。
会員登録すれば毎月の第3水曜日が拘束される事になる??と思う人には、事前に申し込まれると1回のみ参加でも受け付けます。
- *)料理教室への連絡について
担当窓口:米村純一



七五三祝福

11月17日(日)の10時ミサで七五三の祝福がおこなわれた。14人の子どもたちがアルフレド神父さまからお祝いのことばを頂き、ひとりひとりに記念のおメダイと千歳飴が手渡された。会衆のみなさんから拍手をもらい、ミサの終わりにみんな写真撮影。希望にあふれた元気一杯の子どもたちであった。

チャリティーバザー御礼

お天気にも恵まれた11月10日、チャリティーバザーが開催されました。皆様がたのご協力のおかげで、多くの献金が集まりました。ありがとうございました。食品類が早々と完売になるほどの人出で、古着や蚤の市には朝早くから並ばれる方も多く、初めての試みであった木工教室も親子連れの皆様でにぎわい、それぞれに楽しんでいただけたことと思います。

開催前の準備、当日朝早くからの設営、販売ほか、いろいろな場面でご協力いただいた皆様のおかげで、無事に終わることができましたこと、本当にありがとうございました。



三日月会からのお知らせ

2020年1月20日(月)に行なう「三日月会」は、新年会を兼ねて基調講演として現在高野山親王院に住んでおられるイエズス会のロブアン神父をお招きし、「グローバル化する社会で日本宗教の可能性」というテーマでお話いただきます。仏教の修行もされている神父さんのお話は興味深いものとなるでしょう。

三日月会新年会の申し込みは後日別途チラシを作りますので、参加希望の方はチラシの申し込み書に記入の上、お申し込みください。

尚、三日月会以外の方で講演会をお聞きになりたい方も、別途チラシにてお申し込みください。ただし、三日月会会員を優先しますので、満席の場合はお断りすることもあります。

ザビエルの彼方、21世紀に向けての文化と宣教

ティエリー・ロブアン

「今日の日本における仏教と神道」

フランス人である私たちは、日本にやって来て、カルチャーショックとまでは言わないまでも、違いに驚かされます。この国で何年も過ごした後にもなお、我々の日本人の友人たちの態度に驚かされるがよくあります。その一端は3月11日の劇的な一連の出来事によって、また新たに垣間見られました。勿論、日本人のアイデンティティーや文化には多くの要素が関係しています。歴史や地理や気候といった要素もありますが、儒教や仏教や神道などの哲学的、および宗教的な伝統といった要素もあります。1億2700万の人口に対して、8000万人の仏教徒と、8000万人の神道の信徒がいる、とよく言われています。つまり大部分の日本人は二つの宗教を持っていて、「神道の信徒として生まれ、仏教徒として死ぬ」のです。

クリスマス音楽の集い



日時: 12月22日(日) 14時開演

場所: 六甲カトリック教会主聖堂

入場無料 どなたでもご参加いただけます

プログラム: JS バッハ いざきたいませ、異邦人の救い主よ

モーツァルト フルートソナタ イ長調 K.298 他



メサイアコンサート

12月8日(日)14時開演

於: 六甲カトリック教会主聖堂

12月8日にメサイアコンサートが開催されます。ことしで第17回になります。第1回がいつ開かれたのか、いまとなってはよくわからないほどの歴史をもっています。エリック・コロン先生の指導のもとで、年々歌う曲目を増やし、また伴奏もチェンバロ1台の時代から徐々に楽器編成も増やしてきました。メンバーは女声アンサンブル・カメラータの方々を中心に、「ゆりかごの会」や一般有志の方々、そして教会の信徒たちで構成されています。まだ暑さの残る9月ごろにメンバーを募集し、12月にピークが持ってこられるように充実した練習を重ねてきました。今年は10月20日から練習を始めています。コロン先生もことしはご自分のコンサートを控えておられる超多忙の中をお引受けしていただきました。来年も続けられるかどうかわかりませんが、今年のメサイアは、より一層の磨きをかけて成功させたいと思います。演奏会当日は皆様どうぞこぞって聴きにきていただきたいと願っています。(メサイア実行委員会)



みんなの広場

～ラジオ番組視聴のお勧め～

ふつうの小型ラジオでも聴けるFEBCキリスト教放送というのをご存知でしょうか。毎晩9時半から1時間15分。これが67年前から1日も休まず全国放送されているというのも驚きですが、設立がプロテスタント系のためか、カトリックではあまり知られていないようです(注1)しかし、FEBCはすでに30年前からエキュメニカルを謳っており、現にその間カトリック、特にイエズス会の神父様が多数登場しておられるのは特筆すべきかと思えます(注2)放送が夜間なので、FEBCがあるのは知っているが聴けないという方もいます。そんな場合はインターネット放送もあるのでスマホかパソコンで、より鮮明に聴くことができ(毎日更新、1週間後まで聴ける)もうひとつ便利なのは「毎月便」というMP3ディスクが作られていて、これならいつでも(何日後でも、日中何かしながらでも)聴けます(要申し込み プレーヤー共に有料)。番組内容は半年毎に組みかえられますが全体として教派を超えてイエスに向かう、または福音を伝える熱意が伝わってくる思いがします。ラジオ深夜便(NHK)ではないが、病床におられる方、本など読めない人などにも日々の道づれとなりうるかと思えます。

- **注1** この放送はリスナーの献金で維持運営されているようですが、組織として全国的にみると現在約 30 のカトリック教会、修道会が献金に名を連ねています。
- **注2** 出演者例：岩島忠彦 雨宮慧 英隆一朗 片柳弘史 百瀬文晃 川村信三 山岡三治 晴佐久昌英 幸田和生 小田武彦 稲岡圭三 古巣馨 池長潤 菊地功 中川博道 今道友信 山浦玄嗣 山根道公 渡辺和子 片山はるひ 高木慶子 針宮明美 原敬子

- ◇ 日本FEBC(キリスト教ラジオ放送局) TEL0422-52-1566
- ◇ Eメール febc@febcjp.com 東京都武蔵野市吉祥寺北町 4-13-2
- ◇ ホームページ www.febcjp.com 周波数AM1566Khz(毎日夜 9:30～10:45)

※番組カードを聖堂入り口に置いています。

(柴田 章彦)



★ 野宿者支援のクリスマスチャリティーコンサート ♪

12月7日(土)1時～ 神戸中央教会で行われます。野宿者支援をしているカトリック社会活動神戸センターを支えるためのチャリティーコンサートです。最後は教会の庭で炊き出しの温かいスープが出されます。寒い冬を越すおじさんたち支援のために皆様の暖かいご協力をお願い致します。(社会活動部)

★ 越冬越年の炊き出しのお知らせ 🍲

12月28日～2020年1月5日まで 越冬越年の炊き出しが 東遊園地南端 花時計公園で 10時から行われます。この期間 炊き出しにお手伝いできるかたはご協力お願い致します。カトリック神戸地区教会のお当番日は、1月1日と、1月5日です。ボランティアの人も一緒にお昼をいただけます。元旦のメニューは、お雑煮、5日は、中華どんぶりです。(社会活動部)

★ 墓地っこ便り 卍

お天気にも恵まれた11月3日(日)、秋の墓参りと15名の方の納骨が行われました。前回の「墓地っこ便り」でお伝えしましたように、イノシシの侵入による被害を軽減するための対策を検討しておりましたが、今回、六甲教会関係者の墓地の周囲に新たにフェンスを設け、出入りに門扉を設置致しました。ただ、それでも現時点では、完全には被害を食い止めることはできていないようで、イノシシの嫌がる薬剤を散布するなどして様子を見ているところです。墓参の際に遭遇された場合には、お気を付け下さい。(六甲教会墓地委員会)



お
知
ら
せ



2019年11月に入った図書
書室より 奇しくも同名の2冊の本が入りました。またどちらも信徒からの寄贈本です。

☆アジジの聖フランシスコ 2016年7月刊

藤城清治 女子パウロ会

影の旅人藤城清治が21年かけて 聖フランシスコの生涯をえがく、現代人に生きる喜び、励まし、いやしを届ける渾身の作。美しく、力強く、優しい影絵の大型絵本に魅了されます。

☆アジジの聖フランシスコ 創文社 1969年刊

オ・エンゲルベール著 平井篤子 訳

「小さき貧者」の名で世界中の人々に親しまれている聖人の生涯を、生き生きと浮き彫りにした、伝記文学の傑作。訳者は神戸海星女子学院大学の学長をしたシスターです。

☆世界代表司教会議 第15回通常総会報告

カトリック中央協議会 非売品

一使徒的勧告「キリストは生きている」のもととなったシノドス(15回総会)の報告書です。—「若者、信仰、そして召命の識別」をテーマに18年10月に行われたシノドスの報告です。世界の現状や若者の声を聴き、教会のこれからの在り方を示す形で進められています。

日々の信仰生活や、周囲の現実を踏まえた、示唆に富む読書の感想の一端などを、よく耳にすることがあります。それら、読書の喜びを教会員と共有しませんか。投稿を重ねてお願いいたします。

社会活動部

- ◆12月2日(月) 9時半 **ともしび会** 施設の子どもたちへのケーキ作り (イグナチオホール台所)
- ◆12月4日(水) 10時 **手芸の集い**(第1、第2会議室) どなたでも参加ご自由です。
- ◆12月14日(土) 10時 **炊き出し** (イグナチオホール台所) 小野浜グランドにて、おじさん達のお話相手や配食だけでもOKです。
- ◆12月15日(日) 10時**ミサ後 ふれあい広場** (イグナチオホール)
- ◆12月24日(水) 9時半 **ともしび会** クリスマスデコレーションケーキを子どもたちにプレゼント

施設管理部

待降節第一主日に入り、祭壇の一本目のローソクに火がともされ、後降誕の準備が始まりました。今回は東面の花壇についてのお話です。

1本のツガ(マツ科)の木が植わっています。



これは、武庫神父様がいらした頃、旧聖堂の祭壇のツリーに生の鉢植えを使っていた名残です。当時は聖書朗読が終わると十字架を先頭に数人神父様、侍者の列の入堂は厳かでした。心を一つにして、ご降誕を祝う信徒の気持ちをツリーは盛り立ててくれていました。



その横並びに大きなオリーブ(モクセイ科)の木が2本あります。2008年9月片柳神父様の叙階後の初ミサを祝った青年会が植樹したものです。当初は別の所にありましたが場所が狭く現在の所に移植され「ゲッセマネの森」を彷彿する位まで立派に成長しています。初夏には良い香りの小さな白い花が咲き、秋には実のグリーン、ダークレッド、クロに変化する過程も美しいです。旧約聖書にも登場し「平和と幸せのシンボル」とされています。昨年(2018年)の枝の主日ではソテツの枝と共にオリーブの枝も祝別され使われました。

11月3日のミサ後に、長峰墓地の墓参があった。この一年に亡くなった方々を共同墓地に納骨した後で、お墓の一つ一つに聖水を降りかけて祈った。数百もある墓石を二人の司祭が手分けしたが、急な段差を手すりにすがりながら無事に終わった。両親の墓も伯母の墓も、教会の神父さんたちや高校でお世話になった先生方のお墓もあった。中には雑草に埋もれたもの、墓碑銘が読めないものもあった。険しい坂道に阻まれて、どうにも身内の墓地まで行き着けない遺族も増えてきたのかもしれない。何年間もお参りも世話もなく、また連絡も久しく絶えて更地になる墓もあるとか。

私はこの6月で80歳の台をこえ、今までお世話になった故人の方々を偲んでいるが、その人数の多さと力強さに驚いている。時には独りニンマリ笑うこともある、誰かさんとそっくりの対応だったり言葉だったりするからである。両親や祖父母、叔母や伯母などの親族はもとより、小学校から大学に至るまでお世話になった先生たち、教会や内外のイエズス会に関わりを持った数多の先輩や後輩たち。彼らは既に亡くなり墓に葬られてはいるが、彼らこそ今ここに在る私を可能にしているばかりか、掛け替えのない彼らとのご縁こそ私の生き方と考え方、好むものと嫌うもの、また対人関係に直接かかわる私の骨格・根源を創っている。彼らとの出会いなしに、私の今がない、いわば私のひととなり・生命線を創った恩人といえよう。毎年のようにお墓参りを行い、雑草を抜いて

管理するか否かではなく、一人ひとりが人生の途上で不可思議にも交差し共に過ごした年月を恵みとしてご縁として思い起こし、有難くその出会いを感謝して受け止めたいものだ。おそらく先人たちの誰も幸いに、完全無欠な聖人でなかったかもしれない。そこに私ならではの戒めも選び分けもある。死者の願いと導きに応えて、自分らしく勇ましくガメツク生きて関わりを拡げたいものだ。イエスの復活を信じイエスの救いに与っている死者のために、私たち生者が祈念し追悼し供養しなければ、彼らが救われ成仏しないのではない。極論すれば死者は既に神の御手の中に抱かれ新たなイノチに与っている。むしろ現に生きている私たちこそ、心新たに今ここに悩み苦しみ迷いながらも進み行かなければならない、彼らの支えや導きに応えて。

京都ではお盆の行事として五山にそれぞれ火を灯して、故人の黄泉へ昏い道を照らして見送るとか。何だか余りにも素朴で微笑ましいが、今は亡き人々との切っても切れないご縁を思い計るヨスガとしてならば、大切な意味があろう。私たちキリスト者はイエスの復活に寄りすがり、恵みとして与えられる永遠の命によって、死後も新たな交わりに与る希望を固く懐いている。それならばこそ、生きている私たちと既に死んだ人々との関わりや繋がりをもっと真剣に受け止め、そのご縁を深める心遣いや祈りやヨスガを大切にしたい。

(中村 健三 合掌)

六甲カトリック教会年末年始ミサ予定

12月24日(火)	主の降誕(夜半ミサ)	17:00, 19:00, 21:00
12月25日(水)	主の降誕(日中ミサ)	07:00, 10:00
12月31日(火)	神の母聖マリアミサ	23:00
	ミサ後、カウントダウン	
1月1日(水)	神の母聖マリアミサ	08:30, 11:00



【 2019 年 12 月 予定表 】

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
待降節第1主日 宣教地召命促進 の日		日本宣教の保護 者 聖フランシス コ・ザビエル司祭			初金曜日ミサ 7:00 10:00 ◎東灘北1	
8	9	10	11	12	13	14
待降節第2主日 小教評議会 12:00 メサイアコンサート 14:00	無原罪の聖マリア ミサ 7:00 10:30 (六甲教会創立記念 日) ロザリオの祈り 10:00				◎東灘北2・ 芦屋	社会活動部炊 き出し 教会学校クリ スマス会・終 業式
15	16	17	18	19	20	21
待降節第3主日 ふれあい広場					◎東灘南	
22	23	24	25	26	27	28
待降節第4主日 クリスマス音楽の 集い 14:00		主の降誕(夜半 のミサ) 17:00 19:00 21:00	主の降誕(日中 のミサ) 7:00 10:00	聖ステファノ 殉教者	聖ヨハネ使徒 福音記者 ◎灘北1・北・ 三田	幼子殉教者
29	30	31				
聖家族	教会受付年末休 み(~31日)	神の母聖マリアミ サ 23:00 ミサ後のカウント ダウン				

◎は掃除当番地区です

◆2020年1月3日(金)初金曜日ミサについて◆

2019年の教会行事予定には記載されておきませんが、2020年1月3日(金)初金曜日ミサが7:00と10:00におこなわれます。皆様のご参加をお願いいたします。(典礼部)

<p>次回1月号の発行は、12月28日(土)です。</p> <p>原稿は毎月15日ごろまでに教会受付へ直接ご持参いただくか、FAX やメールでお願いいたします。皆様からの原稿をおまちしております。</p> <p>(広報部)</p> <p>http://www.rokko-catholic.jp</p>	<p style="text-align: center;">六 甲 カ ト リ ッ ク 教 会</p> <p>〒657-0061 神戸市灘区赤松町3-1-21</p> <p>電 話 078-851-2846</p> <p>F A X 078-851-9023</p> <p>E - メ ー ル renraku@rokko-catholic.jp</p> <p>発行責任者 アルフレド・セゴビア</p> <p>編 集 広 報 部</p>
--	---